

## 令和5年度第3回南三陸町総合計画審議会 会議録

- 1 日 時：令和5年7月25日（火）午後1時30分から午後2時35分
- 2 場 所：南三陸町役場2階会議室
- 3 出席委員：10名  
山内正文会長、高橋長晴副会長、阿部國博委員、阿部隆委員、伊藤和長委員、及川吉則委員、行場博文委員、沼倉善子委員、星岳大委員、山内健一委員  
（氏名カナ順）
- 4 欠席委員：2名  
阿部和夫委員、久保田正男委員（氏名カナ順）
- 5 事務局：企画課 課長 岩淵武久  
企画課 課長補佐兼政策調整係長 阿部好伸  
企画課 佐藤 悠  
ランドブレイン株式会社仙台事務所 姜守範（オブザーバー）
- 6 会議次第
  - 1 辞令交付
  - 2 開 会
  - 3 挨拶 総合計画審議会 山内会長
  - 4 議 事
    - (1) 専門委員会議での審議等について
      - ① まちの将来像
      - ② リーディングプロジェクト
      - ③ 総合計画の構成
    - (2) 総合計画基本構想（案）について
    - (3) 今後の予定について
  - 5 そ の 他
  - 6 閉 会

午後1時30分開会

（事務局）

定刻となりましたので、ただ今から令和5年度第3回南三陸町総合計画審議会を開会いたします。  
本日の会議ですが、町の総合計画策定支援業務を受託しておりますランドブレイン株式会社仙台事務所の姜チーム長補佐がオブザーバーとして同席しておりますので、委員皆様にご報告いたします。

（事務局）

はじめに、辞令交付を行います。

先月6月30日をもって解職となりました佐々木孝男委員の後任となります、行場博文様への辞令交付を行います。

なお、町長におかれましては、本日仙台出張中ですので、企画課長が辞令を交付いたし

ます。お名前をお呼びいたしますので、その場にご起立をお願いします。

#### 行場博文委員へ辞令交付

(事務局)

開会に先立ちまして、山内会長からご挨拶をお願いいたします。

#### 山内会長挨拶

(事務局)

会長、ありがとうございました。

ここからは、南三陸町総合計画審議会条例第6条第1項の規定により、山内会長に議事進行をお願いいたします。山内会長よろしくをお願いいたします。

(議長)

それでは、規定により議長を務めさせていただきます。

本日の出席委員が、現時点で9名であり、過半数に達しておりますので、南三陸町総合計画審議会条例第6条第2項の規定により、本会議が成立しますことを報告します。

早速、議事に移ります。(1) 専門委員会議での審議等について、事務局に説明を求めます。

(事務局)

まず、はじめに、以前、開催通知文書を送らせていただきましたが、文書の中に事前送付資料を配付する旨の記載をしておりましたが、資料調製に時間を要してしまったため、当日配布の資料で対応させていただきます。大変申し訳ございませんでした。

それでは、お手元に配布をしている「資料1」をご覧ください。専門委員会議での審議等について説明をいたします。1点目ですが、これまでの専門委員会議の内容について説明いたします。先週第4回専門委員会議を開催し、これまでの会議の内容を踏まえ、「まちの将来像」、「リーディングプロジェクト」について協議等を行ってきました。

続きまして、2点目の「まちの将来像」について説明いたします。資料には、これまでの町の総合計画における将来像を記載しております。また、第3次総合計画におけるまちの将来像のイメージを4つ記載しております。専門委員の方々からは、「新しい未来や可能性を感じる言葉」であったり、全ての課題やそれに向けて取り組み活動するのは最終的には、「人」であるといった意見や、まちづくりの主役は「人」である、「人と人のつながり」が大切である等の意見をいただきました。

このことを踏まえて、事務局にてイメージを作成したのがこの4つであります。

- ・イメージ1 「ひと 森 里 海 つながりあうまち 南三陸」
- ・イメージ2 「ひと 森 里 海 いのちめぐるまち 南三陸」
- ・イメージ3 「ひとと自然が輝き 未来へつながるまち 南三陸」
- ・イメージ4 「ひとと自然が輝き 未来へ歩む 南三陸」

第4回の専門委員会議にて具体的に協議を行い、専門委員の方々から一番良いという意見をいただいたのが、イメージ1です。当日は8名の委員に参加いただき、全員イメージ1が良いとの結果になりました。イメージ1の中で「つながりあう」という部分を、現行計画で使用している「いのちめぐるまち」という言葉を使用すべきであるとの声もありました。資料の次ページには専門委員

の方々からでた意見を記載しております。

続きまして、リーディングプロジェクトになりますが、こちらは重点的・横断的な政策として掲げたいと考えております。こちらについては、第3回の専門委員会議で委員の皆様にも集中的に協議を行っていただきました。このリーディングプロジェクトの取扱いとしましては、「まちの将来像」、「まちづくりの理念」といったものを実現するために、重点的・横断的に取り組んでいくものです。

専門委員の皆様にも協議を行っていただいた結果として、リーディングプロジェクトとして「①未来を担う世代の暮らし充実」、「②多様なコミュニティの構築・発展」、「③来たくなる・集うまちづくり」、「④地域資源の活用」、「⑤持続可能なまちづくり」この5点をリーディングプロジェクトとして掲げてはどうかとの結論に至りました。

続きまして、次のページに移りますが、南三陸町第3次総合計画の構成についてですが、縦軸の部分を見ていただくと、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」と記載されておりますが、これまで専門委員の皆様にご議論をいただいた部分は、「基本構想」の部分に該当します。それが、資料の青枠の部分になります。「まちの将来像」については、現在、空欄という形にしております。「まちづくりの理念」については、現状の課題等を踏まえながら設定いたしました。その中で、「ひとのつながりを大切にするまちづくり」、「自然の恵みを大切にするまちづくり」といった2点を掲げたいと考えております。リーディングプロジェクトにつきましては、先ほどもご説明をいたしましたが、将来像及び理念を実現するための重点的・横断的な政策ということで5点挙げております。

その下の白枠の基本政策については、こちらについても将来像の実現や現状の課題等を解決するための今後のまちづくりの柱となるための政策として5点挙げております。この基本政策の箇所には、分野別の政策が位置付けられることになっております。1点目が「産業・経済」、2点目が「教育・文化」、3点目が「健康・福祉・子育て」、4点目が「環境・暮らし・防災」、5点目が「連携・協働」といったようなくくりの中で分野別でまちづくりの柱を掲げたいと考えております。こちらの基本政策については、「まちづくりの理念」及び「将来像」の実現を目指していくため、まちづくりの柱となる政策であり、総合計画審議会及び専門委員会議での意見・要望、先に実施をしておりました、町民・企業アンケート結果、追って説明をいたしますが地区懇談会を予定しておりますが、これらの内容を踏まえて、町で決定をしたいと考えております。こちらの基本構想の縦軸の取扱いとしましては、計画期間が10年間であり、この10年間を引っ張っていく基本構想の期間も同じく10年と考えております。その下の縦軸の基本計画の部分については、個別の施策ということで、基本政策にリンクする分野別の施策ということで、こちらについては5年というくくりで考えております。以前もお話をいたしました、前期・後期に分けて施策を進めていきたいと思っております。

最後に、実施計画になりますが、基本計画に基づく具体的な事業という位置づけになります。こちらについては、3年のローリングで見直しを図っていくというような形で考えております。次期総合計画の構成としてはこのような形で進めていきます。資料1による説明は以上となります。

(議長)

事務局より、資料に基づく説明が終わりました。

委員の皆様方から質問はございませんか。

「まちの将来像」についてはイメージが4つありますが、どれが良いのかを決めたいと思っております。

委員の皆様から、ご意見をいただきたいと思っております。

(阿部隆委員)

イメージ2が一番いいと思う。「いのちめぐる」は人だけでなく、自然にもいのちはあるし、未来に向かって代々繋がっていくということについても含まれている。一番あっていると思う。

(議長)

理念があるかないかで進む方向にも迷いが出てくる。理念をつくとそれに向かって頑張れるし、目標が決まってくるので大切なこと。その他に何かあるか。

(伊藤和長委員)

冒頭に「ひと 森里海」がつくのがいいと思う。ある程度、復興も一段落して未来に向かうというイメージが出てきているので、イメージ2もいいし、イメージ4の「未来へ歩む」という言葉が入ってもいいのかと思う。4つのイメージの中では、そのままイメージ2か、イメージ2の頭の部分にイメージ4の「未来へ歩む 南三陸」という言葉が入っても良いと考える。

(及川吉則委員)

個人的には、イメージ4の方がすごく分かりやすくいいかと感じる。「いのちめぐるまち」というのを今まで使ってきたので、これから新たなステージに南三陸が歩いていくというところもイメージが伝わりやすいというのと、まちづくりの理念の中に人のつながりを大切にするまちづくりと自然の恵みを大切にするまちづくりということで、人と自然が入っているというつながりも分かりやすいかと思う。

(高橋長晴副会長)

他の町外の方々からすると「森里海 いのちめぐるまち」というのは難しいと正直個人的には思う。4つのイメージの中では、イメージ3が好き。この町は、自然と共生する町と町長が最初から掲げているし、F S Cやラムサールなど、そういうのを総まとめにした形としての自然というのが分かりやすいかと思う。

(山内健一委員)

イメージ4が個人的には好き。理念の中で今までずっと使ってきたものよりも新しく令和6年から令和15年まで、別のフレーズで考えていってもいいと思う。

(沼倉善子委員)

イメージ4がいいと思う。

(行場博文委員)

分かりやすいのが一番かと思う。キャッチコピー的な形でやるとすれば、イメージ2がいいかと思っていたが、皆さんの意見を聞いて、イメージ4がいいのではないかと気持ちが変わってきた。

(星岳大委員)

第1印象はイメージ3だったが、専門委員の方々の意見を見て、イメージ1かイメージ2がいい

と思ったが、今、皆さんの意見を聞いて「森里海」というのは逆に分かりにくいような気がしてきた。イメージ3、イメージ4がいい。

(阿部國博委員)

単純にイメージ4がずっと入ってくると個人的には思う。

(事務局)

お話をお伺いした中では、イメージ2とイメージ4が多いと感じました。総合計画審議会では、委員の皆様から出た意見としては、イメージ2とイメージ4が多かったということを再度専門委員会議の皆様にも話をさせていただき、町長も含め、もう一度フレーズの入替えだったり、文言の整理というところも考慮し、その結果を次回この会議でこうなりましたという流れで、ご報告させていただいてもよいでしょうか。

(議長)

ただ今の事務局の説明でよろしいでしょうか。

(異議なしとの声あり)

(及川吉則委員)

イメージ4の「未来へ」と「歩む」は同意語にならないか。平成19年から平成28年のときに、「にぎわいあるまち 南三陸町」となっていた。そこだけが少し気になる。

(議長)

その点も対応していただきたい。「①まちの将来像」については、事務局の説明どおりで進めていただきたい。次に、「②リーディングプロジェクト」について質問はありますか。質問等が無ければこの内容で決定したいと思うがよろしいか。

(質疑なし)

(議長)

最後に「③総合計画の構成」について、委員皆さんから質問等がありますか。まちの理念を前面に打ち出して、町民皆さんで共有して進んで行くということが非常に大切なことだと感じる。この基本計画は3年毎に見直して考えていくということによろしいか。

(事務局)

基本計画については、5年で前期・後期という形で考えています。

(議長)

委員の皆様、この内容でよろしいでしょうか。

異議なし

(議長)

それでは事務局の内容で決定したいと思います。

続きまして、(2) 総合計画基本構想(案)について、事務局に説明を求めます。

(事務局)

皆様のお手元に配付をしている「資料2」をご覧ください。

こちらについては、最終的に南三陸町第3次総合計画として冊子ができることとなっておりますが、この計画の前段となる部分となりますが、これからのまちづくりの骨子だったり、考え方を整理したものになります。これまでの専門委員会議の内容や住民・企業アンケート調査を踏まえ、現時点の案として、皆様に配布しております。この内容で全て確定ということではありませんので、記載している内容や表現、レイアウトについては、今後精査をしていく予定です。

資料の詳細について説明をいたします。1ページ、2ページ目には、計画策定の趣旨や計画の位置づけ、計画期間の構成等が記載されております。3ページ、4ページ目には、南三陸町の概況が記載されております。ページが飛びますが、8ページ目には町民意向が記載されております。こちらは、以前実施をした住民・企業アンケート調査の内容を記載しております。11ページ、12ページ、13ページには、まちづくりの課題を記載しております。専門委員会議の中で話し合いを行い課題として取り上げた事項を掲載しております。中身については今後精査をしていく予定です。14ページには、まちづくりの理念と将来像を掲載しております。15ページには、人口・経済等の見通しと目標を掲載しております。基本構想の中で、将来人口を定めていくことを考えておりますが、こちらについては、国立社会保障人口問題研究所が推計方法を定めておりますが、その推計方法に準じた形で、町でも独自で推計をしていく考えです。基本的には国勢調査のデータを基に推計を行っていきます。資料の表をご覧くださいと、令和2年から令和50年の将来人口の推計を表しております。18ページ、19ページには施策の大綱を記載しております。20ページ目にはリーディングプロジェクトが記載されております。次回の会議には、素案として皆様に提示をする予定です。説明としては以上です。

(及川吉則委員)

前回もこの総合計画を作成して、人口の推移を試算したと思うが、今はどんな結果となっているのか。

(事務局)

現計画にも将来人口を記載しているが、令和7年の目標人口として掲げている数値が11,620人です。住民基本台帳上では、令和5年6月末時点で11,861人、世帯数が4,467世帯となっております。今は住民基本台帳の人口ということでお話をしましたが、推計では、国勢調査の人口を基になると、やっぱり下がってしまうという現状はあります。

(阿部隆委員)

人口減少は止められないが、10年後の町の財政は果たしてどうなっているのか。

(事務局)

国も含めて社会保障費がどんどん膨らんで行く状況が想定されます。

(及川吉則委員)

震災前で108万人ぐらいが年間の交流人口だったが、新型コロナウイルス感染症拡大前で144万人まで伸ばしてきている。去年あたりで、109万人なので結構奮闘している。今は道の駅さんさん南三陸などもできたので、これから150万人を超えていくような感じになってもらえれば。定常人口が一人あたり120万人くらいというのがベースになるので、日帰りだと80人くらいの観光客、宿泊だと20人くらいというのがインバウンドだとそのくらいになってきている。その辺りからすると関係人口、交流人口も3万人近いくらいの人には来るようなまちになりつつあると思う。

(阿部隆委員)

どこよりも南三陸町は税収が低い。

(事務局)

専門委員会議の中でも人口減少への対応といったところで、人を呼ぶといったところも大事だが、今いる町民皆さんにずっと住んでもらえる努力も必要だという話や、そもそも高齢化社会自体が悪いということではないので、そういった現実を受け止めて何か展開していくことが必要なのではないかと具体的な話もいただいております。

(行場博文委員)

小学生が少なく、危機的な状態なのは目に見えている。志津川だけでも1学年100人を超える同級生がいたはずなのに、今は1学年20人くらいになっている。学校だけの問題ではなく地域や皆でやっていかなければならないという危機感を持っている。

(議長)

地域の方が上手く対応するとその人たちが新しい人を呼び込むことに繋がるので、町だけでなく地域の対応は大事であると感じる。今できることを着実にやっていくしかない。

(及川吉則委員)

観光協会の職員の半分くらいが町外から来ている。意識して町内に人を呼ぶという感じでやっている。定着している人も多い。仕事があって安定して町に溶け込めるというのが定着に繋がっている。

(阿部隆委員)

現在、地域おこし協力隊等を雇用しているがなかなか地域に定着しない。自分で起業するのも難しい。せっかく入ってきた若い人もあきらめて出て行ってしまう状況。

(阿部國博委員)

企業を誘致して働く場所をと簡単に言うが、大企業が来るには大規模な土地を用意することを考えると南三陸町では無理だ。人がいないと企業も来られない。本当に難しいことなので、住民の皆さんにも理解してもらい、地道にやっていくことが大切ということをつかってもらうことが必要。農林業だと1人でもできる。そういう若い人たちを長期間にわたって行政としても支援し、地域と

してもそういう人たちを違和感なく入れるような枠組みをコミュニティの中でどう高めていくかが大事。

(議長)

他に、委員の皆様から質問等はありませんか。

質問なし

(議長)

無いようであれば、(3) 今後の予定について、事務局より説明を求めます。

(事務局)

皆様のお手元に配付をしております「資料3」をご覧ください。

8月7日から9日の日程で南三陸町総合計画策定に係る住民懇談会を開催する予定です。広報8月号で町民の方々へは周知をする予定としております。8月28日には第5回専門委員会を開催し、住民懇談会を踏まえた総合計画基本構想(案)について協議を行う予定としております。その後、9月中旬には、第4回総合計画審議会を開催し、総合計画の素案について協議を行う予定となっております。

次回の総合計画審議会については、日程を調整し委員の皆様にご後日通知をお送り致します。

(阿部國博委員)

行政区長あてに、住民懇談会への積極的な参加を呼び掛ける文書を作成すべきである。

(事務局)

分かりました。

(議長)

委員の皆様で質問がある方はいらっしゃいますか。

質問なし

(議長)

本日の議事は、全て終了となります。皆様、円滑な議事進行にご協力をいただきありがとうございました。司会を事務局にお返しいたします。

(事務局)

山内会長、議事進行、大変ありがとうございました。

最後に、その他、委員皆様から何かございませんでしょうか。

それでは、以上を持ちまして、令和5年度第3回南三陸町総合計画審議会を終了いたします。

皆様、大変お疲れ様でした。

午後2時35分終了